

Q 小論文の対策はどうすればよいですか？

A 本学の小論文は奇抜な発想を求めるものではありません。普段から様々な文章に親しむことが重要です。そして、自らの意見を文章にまとめること、それを誰かに読んでもらい評価してもらうことも対策になるでしょう。基本的な文章の作成技術も練習するのがよいでしょう。

Q 英語の資格をもっていないが、入試に不利ですか？

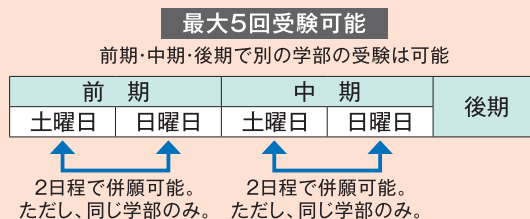
A 英語能力試験のスコアを保有している場合、加点要素になりえます。ただし、保有していない場合でも学業成績や志望理由書、面接の評価によって多くの受験生が合格をしています。

Q いくつかの入試方式を併願できますか？

A AO入試、帰国生徒入試、一般入試のすべての入試で併願ができます。

AO入試／帰国生徒入試

●総合評価方式は5つの日程があります。「前期」に2日程、「中期」に2日程、「後期」に1日程あり、最大5回受験機会があります。



●活動実績アピール方式と英語基準AO方式、そして帰国生徒入試Aには3つの日程があり、それぞれ最大3回受験ができます。試験日が他の入試方式と同日でも併願ができます（同じ日に2度試験を受けることになります）。

一般入試

- 本学独自方式である「A方式」「英語重視方式」「センター試験併用方式（3教科型）」は7日程ありますが、最大7回受験可能です。受験した回ごとに合否判定を行います。日程ごとに受験学部を変更することもできます。
- センター試験方式では、「7科目型」「5教科型」「3教科型」すべてで併願が可能です。両学部併願もできます。そのため最大6回の受験が可能です。
- 3月に実施される「後期分割方式」は1日程ですが1度の受験で両学部の併願が可能です。「センター試験方式（後期型）」も両学部併願ができます。

Q AO入試や帰国生徒入試で受験する入試日程により合格の有利、不利はありますか？

A 複数の試験日を設定している理由は、多くの受験生に受験機会を提供するためです。そのため、入試日程により合否の有利、不利はありません。ただ、早い時期に受験をした場合、仮に不合格になっても再受験する機会があるため、最終的に合格を得るために有利だと言えるかもしれません。

Q APハウスの入寮はどのように決まりますか？

A APハウス入寮は出願時に希望をする必要があります。希望者の中で入試成績が良い人から選抜し入寮合否を決めています。APハウスは国際学生新生が1年間暮らす国際寮です。そのため、国内学生新生の入寮可能者数が変動しますので、このような選抜を行っています。

Q 国内学生優秀者育英奨学金はどのように決まりますか？

A AO／特別入試においては、2次選考の面接評価が優れていることに加え、出願書類の評価が優れていることが求められます。一般入試においては、各方式の得点上位者になる必要があります。